

	ページ
アイサワ工業(株).....	77, 78
青木あすなろ建設(株) .....	77, 78
あおみ建設(株).....	77, 78
(株)浅沼組.....	77, 78
(株)安藤・間.....	77, 78
岩田地崎建設(株).....	77, 78
梅林建設(株).....	77, 78
(株)エム・テック.....	63, 77, 78
(株)大林組.....	77, 78
(株)大本組.....	77, 78
(株)奥村組.....	77, 78
鹿島建設(株).....	5, 73, 74, 77, 78
株木建設(株).....	77, 78
(株)クボタ.....	77, 78
(株)熊谷組.....	41, 77, 78
(株)鴻池組.....	77, 78
五洋建設(株).....	77, 78
佐藤工業(株).....	77, 78
三幸建設工業(株).....	77, 78
清水建設(株).....	77, 78
大成建設(株).....	31, 33, 35, 36, 73, 77, 78
大日本土木(株).....	77, 78
大豊建設(株).....	77, 78
(株)竹中土木.....	73, 77, 78
TSUCHIYA(株) .....	77, 78
鉄建建設(株).....	77, 78
東急建設(株).....	42, 77, 78
東洋建設(株).....	3, 77, 78
戸田建設(株).....	77, 78, 82
飛鳥建設(株).....	77, 78
西松建設(株).....	77, 78
日本基礎技術(株).....	77, 78
日本国土開発(株).....	77, 78, 79
(株)ピーエス三菱.....	77, 78
(株)フジタ.....	43, 47, 77, 78
(株)本間組.....	77, 78
前田建設工業(株).....	70, 77, 78
松尾建設(株).....	77, 78
三井住友建設(株).....	77, 78
みらい建設工業(株).....	77, 78
りんかい日産建設(株).....	77, 78
若築建設(株).....	77, 78

# 土地改良

第298号

平成29年7月15日 発行

編集者／発行所

一般社団法人 土地改良建設協会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4  
農業土木会館

TEL 03-3434-5961

FAX 03-3434-1006

http://www.dokaikyo.or.jp/

インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

本号の表紙は、写真の構図を損なわないよう、あえて見出しをつけていません。

デザイン・印刷 株式会社ひとみ

本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。

## くろすおーばー CROSSOVER

### “食と農といのちをつなぐ”に感動

生ある動物を、食するために飼う、しかし、そこには情が芽生え、肉にすることを受け入れられない幼心、しかし、人間は生きるためには必要なタンパク源。まさしく人間形成も含めた食育だと感じました。ちゃんと受け止め、悩み、悲しみ、そして、理解する。命を大事にする考え方に正面から向き合う学校に、敬服です。

石井さんの文章から、温かみのある、人の痛さがわかる素晴らしい人間の感性が培われると感じました。それを、掲載した協会のプロデュースはすごい。今日は、良き五月晴れのもと、とても気持ちの良い日となりました。今後の、展開に期待大だと感じています。

(山口県、50代男性、公務員)

### 倉敷市長の農業への取り組みに大いに期待する！

私は、岡山生まれで岡山育ちですが、観光都市「倉敷」の酒津公園の取水、配水施設は、明治から大正にかけて、高梁川の大改修工事で建設された、100年の歴史を持つ、日本の農業施設の先駆けとなるような、そして、国の重要文化財である、疏水100選や近代産業遺産にもなっている、すごい施設であったことをはじめて知り感激しました。

また、この歴史的な施設を使って行う倉敷の農業が、岡山を代表とする、マスクットや白桃の生産地として日本でも有数な地域であることやスイートピーが全国第2位の生産量であることも知りませんでした。

これからも、若い女性の市長である伊東市長の積極的な新しい発想で、倉敷の農業の発展に大いに頑張ってもらいたいと思って記事を読ませていただきました。

(岡山県、60代男性、会社員)

### 「食と農といのちをつなぐ」は大変重いテーマ

「土地改良」の記事の中でも異彩を放っており、豚のレイニーと子どもたちが校庭で散歩している写真を見たら、思わず涙が出てきたので、別の記事を読み終えてから再びこちらの記事に戻りました。日ごろの生活で「いのち」を認識する機会のほとんどない現代の小学校5年生が家畜を出荷し、その肉を食することの意味を消化できるのだろうかと心配しました。一方で、このような高いレベルの教育を受けた子どもが将来の農業をリードしていくのだろうかとの期待もあります。この学校ではおそらく「いじめ」などもないのではないのでしょうか。

何度読んでも、涙が出ます。家畜はきちんと食べられることが一番の幸せなんだ、と自分の中で言い訳を整理できないと、しばらくは肉を食べられないと思います。私もその一人でした。(今でももりもり食べられます。)

その他、「土地改良の技術継承を考える」も大変参考となる対談でした。

(東京都、女性、団体職員)

### 大手町小学校の歴史を感じる食育

30年前から飢餓体験の食育を実施してきていることに驚きます。PTAなどの反対もなく、同じ小学校で同じ飢餓体験をした子供が母親になって子供の取り組みを見守る。歴史を感じます。そして、今回は豚や牛を育てて出荷し、命を頂く。「いただきます」の意味を子供たちがみんな議論する。子供たちの気持ちになると涙無しには読めませんが、重いテーマに取り組む子供たちにたくましさも感じました。

土木関係の会誌で、こんな記事が読めるとは思いもしませんでした。

(埼玉県、20代女性、会社員)

### 本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい(掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます)。

ご感想等を掲載させていただいた方には、毎回もれなく全国各地の名品を贈らせていただきます。次回掲載分については、「日本の米カレンダーと富山和子先生の著書〈生きている〉シリーズ5部作と棚田米百選 10kgのセット」をご用意しております。(商品内容が変更になる場合もあります) [8月末日締切]

宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4

土地改良建設協会「くろすおーばー」係  
メールアドレス

jigyoo@dokaikyo.or.jp

## PRESENT

日本の米カレンダー(2018年度版)と  
富山和子先生の著書〈生きている〉シリーズ  
5部作、さらに棚田米百選(10Kg)

